

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成30年1月30日

上場会社名 オムロン株式会社

上場取引所 東証 市場第一部

コード番号 6645

URL <http://www.omron.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 山田 義仁

問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長
氏名 大上 高 充

TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

(1) 連結経営成績（累計）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	624,853	9.9	64,365	40.5	62,510	41.8	46,673	52.4
29年3月期第3四半期	568,687	△7.4	45,815	3.7	44,075	△1.4	30,616	△9.6

(注) 四半期包括利益 30年3月期第3四半期 68,279 百万円 (138.6%) 29年3月期第3四半期 28,622 百万円 (16.7%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第3四半期	218	94	—	—
29年3月期第3四半期	143	19	143	19

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	742,676	523,084	521,036	70.2
29年3月期	697,701	470,757	469,029	67.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末		第2四半期末		合計
	円	銭	円	銭	
29年3月期	—	—	34	00	68 00
30年3月期	—	—	38	00	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	76 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	850,000	7.0	85,000	25.8	79,500	21.4	59,000	28.3	277	00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

平成30年3月期の連結業績予想は平成29年10月31日公表の業績予想から変更はありませんが、連結セグメント別売上高予想および連結セグメント別営業利益予想を変更しております。

詳細は、添付資料18ページ「3.補足情報(8)連結セグメント別売上高予想(前回予想比較)、(9)連結セグメント別営業利益予想(前回予想比較)」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無
新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

(注) 詳細は、添付資料12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	213,958,172 株	29年3月期	213,958,172 株
30年3月期3Q	1,582,828 株	29年3月期	152,836 株
30年3月期3Q	213,180,406 株	29年3月期3Q	213,808,215 株

(注) 平成30年3月期第3四半期連結会計期間末において、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託として保有する当社株式770,100株は、期末自己株式数に含めて記載しております。また、期中平均株式数には、1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益の算出において控除する自己株式として含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 当社は、平成30年1月30日（火）に投資家向け説明会を開催する予定です。その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(注) 事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

IAB： インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）

EMC： エレクトロニック&メカニカルコンポーネツツビジネス（電子部品事業）

AEC： オートモーティブ・エレクトロニックコンポーネツツビジネス（車載事業）

SSB： ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービスビジネス（社会システム事業）

HCB： ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）

その他： 環境事業、電子機器事業、マイクロデバイス事業、バックライト事業など（本社直轄事業）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(会計方針の変更)	P. 12
(セグメント情報)	P. 13
3. 補足情報	P. 15
(1) 連結業績概要	P. 15
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 16
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 16
(4) 期中平均レート実績	P. 16
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 17
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 17
(7) 期中平均レート予想	P. 17
(8) 連結セグメント別売上高予想(前回予想比較)	P. 18
(9) 連結セグメント別営業利益予想(前回予想比較)	P. 18

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○ 全般的概況

当第 3 四半期累計（平成 29 年 4 月～12 月）における当社グループの業績は、前年同期比で大幅な増収増益となりました。主力の IAB(制御機器事業)における大幅増収が全社の売上高の増加を牽引しました。また、生販開一体となり全社で推進してきた収益構造改革の効果により、売上総利益率は前年同期比 2.3 ポイント改善の 41.7%となりました。中長期にわたる持続的な成長に向けた投資を執行しながら、大幅な増益を達成しました。

当第 3 四半期累計の業績結果は以下のとおりです。

	平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 30 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
売 上 高	5,686 億 87 百万円	6,248 億 53 百万円	+9.9%
売 上 総 利 益 (売上総利益率)	2,239 億 69 百万円 (39.4%)	2,607 億 58 百万円 (41.7%)	+16.4% (+2.3P)
営 業 利 益 (営業利益率)	458 億 15 百万円 (8.1%)	643 億 65 百万円 (10.3%)	+40.5% (+2.2P)
税引前四半期純利益	440 億 75 百万円	625 億 10 百万円	+41.8%
当社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	306 億 16 百万円	466 億 73 百万円	+52.4%
米ドル平均レート	106.9 円	111.7 円	+4.8 円
ユーロ平均レート	118.7 円	127.9 円	+9.2 円

:

○ セグメント別の状況

IAB (制御機器事業)

		平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 30 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	965 億 58 百万円	1,126 億 75 百万円	+16.7%
	海外	1,434 億 34 百万円	1,793 億 78 百万円	+25.1%
	合計	2,399 億 92 百万円	2,920 億 53 百万円	+21.7%
営業利益		370 億 67 百万円	552 億 42 百万円	+49.0%

<国内売上高の状況>

世界的な半導体関連投資の拡大による製造装置の投資需要の高まりと、自動車業界での投資需要の増加を捉え、国内売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<海外売上高の状況>

米州では、半導体関連の投資需要等が堅調に推移しました。欧州では、政局の安定に伴う緩やかな景気回復に加えて、機械輸出が好調だったことから、注力業界を中心に需要が拡大しました。中華圏・アジアでは、デジタル業界で急速な投資拡大が見られました。これらの需要や投資の拡大に対応し、リソースの増強ならびに顧客への最適なソリューション提案活動を実施したことに加え、買収企業の売上高が寄与したことから、海外売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加に加え、幅広い商品群とソリューションを活かした販売活動の効果により、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

EMC (電子部品事業)

		平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 30 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	166 億 5 百万円	182 億 35 百万円	+9.8%
	海外	522 億 77 百万円	594 億 82 百万円	+13.8%
	合計	688 億 82 百万円	777 億 17 百万円	+12.8%
営業利益		71 億 48 百万円	108 億 28 百万円	+51.5%

<国内売上高の状況>

自動車業界向けの新規商談拡大や好調な新車販売、アミューズメント業界向けの需要を確実に捉えたこと等により、国内売上高は前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

中華圏では、内陸都市部における所得や生活水準の向上に伴い、高機能家電市場の需要増を捉えたことから、民生業界向けが好調に推移しました。アジアでは、自動二輪向けの需要増や家電向けで採用商品が増えたことにより、売上高は増加しました。これらの結果、海外売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

国内外売上高の増加に加え、内部売上高も増加したことから、営業利益も前年同期比で大きく増加しました。

AEC（車載事業）

		平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 30 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	137 億 70 百万円	125 億 75 百万円	△8.7%
	海外	831 億 41 百万円	849 億 78 百万円	+2.2%
	合計	969 億 11 百万円	975 億 53 百万円	+0.7%
営業利益		48 億 82 百万円	42 億 75 百万円	△12.4%

<国内売上高の状況>

当社製品を搭載した車種のモデルチェンジによる影響により、国内売上高は前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

米州では、北米における自動車生産台数の減少や当社製品を搭載した車種のモデルチェンジによる影響により売上高は前年同期比で減少しました。アジアでは、インドでの好調な自動車生産やインドネシアの自動二輪向けの販売増などにより、売上高は前年同期比で増加しました。これらに為替のプラス影響が加わり、海外売上高全体としては前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

売上高は横ばいにとどまる一方で、研究開発費の増加により、営業利益は前年同期比で減少しました。

SSB（社会システム事業）

		平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 30 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		308 億 83 百万円	309 億 59 百万円	+0.2%
営業利益（△損失）		△35 億 7 百万円	△33 億 47 百万円	—

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成 30 年 3 月期より、「SSB」傘下の一部を「その他事業」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、平成 29 年 3 月期を新管理区分に組み替えて表示しております。

<国内売上高の状況>

駅務システム事業については、更新需要が横ばいで推移しました。交通管制・道路管理システム事業については、幹線道路関連の端末更新需要が低調だったものの、品揃え強化に取り組んだことにより、端末商品の販売は横ばいで推移しました。これらの結果、国内売上高は前年同期比で横ばいとなりました。

<営業利益の状況>

設計・生産の内作化など収益力強化の取り組みの結果、損失額が前年同期比で減少しました。

HCB (ヘルスケア事業)

		平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 30 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	226 億 69 百万円	197 億 45 百万円	△12.9%
	海外	533 億 22 百万円	622 億 88 百万円	+16.8%
	合計	759 億 91 百万円	820 億 33 百万円	+8.0%
営業利益		75 億 81 百万円	101 億 80 百万円	+34.3%

<国内売上高の状況>

家庭向け健康医療機器については、オンラインチャネルでの販促活動の強化により血圧計と低周波治療器の販売が好調に推移しました。しかしながら、平成 28 年 12 月に実施した旧オムロンコーリン社の株式譲渡に伴い、医療機関向け機器の売上高が減少した結果、国内売上高は前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

米州では、米国でのオンラインチャネルでの販促活動および南米における取扱店拡大により、血圧計、ネブライザの販売が好調に推移しました。欧州では、ロシアでの血圧計の販売が堅調に推移しました。中華圏では、オンラインチャネルでの血圧計、ネブライザの販売が好調に推移しました。アジアでは、インドやインドネシア等での取扱店拡大により、血圧計の販売が好調に推移しました。これらの結果、海外売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加と生産性向上により、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

その他事業 (本社直轄事業)

		平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 30 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		522 億 72 百万円	416 億 41 百万円	△20.3%
営業利益 (△損失)		△13 億 10 百万円	△11 億 24 百万円	—

(注 1) その他事業では、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄で行っています。
(注 2) 経営管理区分の見直しにより、平成 30 年 3 月期より、「SSB」傘下の一部を「その他事業」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、平成 29 年 3 月期を新管理区分に組み替えて表示しております。

<環境事業の売上高の状況>

蓄電関連の商品拡充の効果は出ているものの、太陽光発電パネル向けパソコン需要の低迷により、売上高は前年同期比で減少しました。

<電子機器事業の売上高の状況>

無停電電源装置および電子機器の開発・生産受託サービスの需要が好調に推移し、売上高は前年同期比で大きく増加しました。

<マイクロデバイス事業の売上高の状況>

スマートフォン向けマイクロフォンの需要増加により、売上高は前年同期比で増加しました。

<バックライト事業の売上高の状況>

事業の最適化を更に進めていることから、売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

売上高は減少したものの、構造改革が進んでいることから、営業損益は前年同期比で改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

VG2.0では、持続的な企業価値向上に向けた投資を積極的に実行する一方、資本効率を重視したROIC経営を継続します。

当第3四半期末の資産の部は、たな卸資産の増加や機械その他の増加などにより、前期末に比べ449億75百万円増加して、7,426億76百万円となりました。また、負債の部は、未払費用の減少などにより、前期末に比べ73億52百万円減少して、2,195億92百万円となりました。純資産の部は当社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前期末に比べ523億27百万円増加して、5,230億84百万円となりました。以上より、株主資本比率は前期末の67.2%から70.2%となりました。

当第3四半期累計のキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益の計上や売上債権の減少などにより463億7百万円の収入（前年同期比17億71百万円の収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、資本的支出や事業買収などにより444億59百万円の支出（前年同期比362億24百万円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや自己株式の取得などにより、227億17百万円の支出（前年同期比75億43百万円の支出増）となりました。以上より、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は前期末に比べ193億66百万円減少し、1,066億60百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成 29 年 10 月 31 日公表のとおりとし、変更いたしません。但し、連結セグメント別の売上高予想および営業利益予想を変更しており、詳細は添付資料 18 ページ「3. 補足情報(8)連結セグメント別売上高予想（前回予想比較）、(9)連結セグメント別営業利益予想（前回予想比較）」のとおりです。なお、第 4 四半期の業績予想の前提となる為替レートは、1 米ドル 110 円、1 ユーロ 128 円です。

業績予想は当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成29年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(資産の部)				
流 動 資 産	435,904	62.5	433,950	58.4
現金及び現金同等物	126,026		106,660	
受取手形及び売掛金	169,210		163,229	
貸倒引当金	△ 1,320		△ 1,267	
たな卸資産	109,404		143,501	
繰延税金	19,123		—	
その他の流動資産	13,461		21,827	
有 形 固 定 資 産	127,615	18.3	133,612	18.0
土 地	25,550		25,747	
建物及び構築物	141,527		146,245	
機械その他	189,286		206,199	
建設仮勘定	6,104		8,345	
減価償却累計額	△ 234,852		△ 252,924	
投資その他の資産	134,182	19.2	175,114	23.6
の れ ん	30,385		41,574	
関連会社に対する 投資及び貸付金	25,303		26,354	
投資有価証券	27,006		33,226	
施設借用保証金	6,907		7,353	
繰延税金	21,101		36,158	
その他の資産	23,480		30,449	
資 産 合 計	697,701	100.0	742,676	100.0

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成29年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負 債 の 部)		%		%
流 動 負 債	172,081	24.7	164,924	22.2
支払手形及び買掛金・未払金	89,362		89,822	
未 払 費 用	39,354		36,244	
未 払 税 金	6,994		4,318	
そ の 他 の 流 動 負 債	36,371		34,540	
繰 延 税 金	763	0.1	681	0.1
退 職 給 付 引 当 金	43,708	6.2	43,463	5.9
そ の 他 の 固 定 負 債	10,392	1.5	10,524	1.4
負 債 の 部 合 計	226,944	32.5	219,592	29.6
(純 資 産 の 部)				
株 主 資 本	469,029	67.2	521,036	70.2
資 本 金	64,100	9.2	64,100	8.6
資 本 剰 余 金	99,138	14.2	99,415	13.4
利 益 準 備 金	17,813	2.5	19,826	2.7
そ の 他 の 剰 余 金	346,000	49.6	382,581	51.5
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 57,363	△ 8.2	△ 36,292	△ 4.9
為 替 換 算 調 整 額	△ 6,327		9,202	
退 職 年 金 債 務 調 整 額	△ 56,571		△ 54,816	
売却可能有価証券未実現損益	5,765		9,786	
デリバティブ純損益	△ 230		△ 464	
自 己 株 式	△ 659	△ 0.1	△ 8,594	△ 1.1
非 支 配 持 分	1,728	0.3	2,048	0.2
純 資 産 の 部 合 計	470,757	67.5	523,084	70.4
負 債 及 び 純 資 産 合 計	697,701	100.0	742,676	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期連結累計期間 〔自平成28年4月1日 至平成28年12月31日〕		当第3四半期連結累計期間 〔自平成29年4月1日 至平成29年12月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	568,687	100.0	624,853	100.0		
売 上 原 価	344,718	60.6	364,095	58.3		
売 上 総 利 益	223,969	39.4	260,758	41.7		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	141,162	24.8	154,340	24.7		
試 験 研 究 開 発 費	36,992	6.5	42,053	6.7		
営 業 利 益	45,815	8.1	64,365	10.3		
そ の 他 費 用 - 純 額 -	1,740	0.3	1,855	0.3		
税 引 前 四 半 期 純 利 益	44,075	7.8	62,510	10.0		
法 人 税 等	13,223	2.4	16,335	2.6		
持 分 法 投 資 損 益 (△ 利 益)	△ 79	△ 0.0	△ 881	△ 0.1		
四 半 期 純 利 益	30,931	5.4	47,056	7.5		
非 支 配 持 分 帰 属 損 益	315	0.0	383	0.0		
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	30,616	5.4	46,673	7.5		

(四半期連結包括損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 〔自 平成28年4月1日〕 〔至 平成28年12月31日〕	当第3四半期連結累計期間 〔自 平成29年4月1日〕 〔至 平成29年12月31日〕
		金 額	金 額
四 半 期 純 利 益		30,931	47,056
その他の包括利益－税効果考慮後			
為 替 換 算 調 整 額		△ 1,962	15,681
退 職 年 金 債 務 調 整 額		2,512	1,755
売却可能有価証券未実現損益		△ 2,203	4,021
デリバティブ純損益		△ 656	△ 234
その他の包括利益（△損失）計		△ 2,309	21,223
四半期包括利益		28,622	68,279
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益		223	535
当社株主に帰属する四半期包括利益		28,399	67,744

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 〔自平成28年4月1日 至平成28年12月31日〕		当第3四半期連結累計期間 〔自平成29年4月1日 至平成29年12月31日〕	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー					
1. 四半期純利益			30,931		47,056
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 四半期純利益の調整					
(1) 減価償却費	21,474			21,390	
(2) 固定資産除売却損(純額)	384			197	
(3) 長期性資産及び売却予定資産の減損	12,205			139	
(4) 投資有価証券売却益(純額)	△ 142			△ 371	
(5) 事業売却損(△益)	△ 3,686			14	
(6) 投資有価証券の減損	312			59	
(7) 退職給付信託設定益	△ 6,161			—	
(8) 退職給付引当金	2,791			2,088	
(9) 繰延税	△ 1,161			225	
(10) 持分法投資損益(△利益)	△ 79			△ 881	
(11) 資産・負債の増減					
① 受取手形及び売掛金の減少	1,790			12,092	
② たな卸資産の増加	△ 18,860			△ 27,420	
③ その他の資産の減少(△増加)	2,150			△ 5,545	
④ 支払手形及び買掛金・未払金の増加(△減少)	5,776			△ 861	
⑤ 未払税金の減少	△ 3,340			△ 2,870	
⑥ 未払費用及びその他流動負債の増加	443			14	
(12) その他の他(純額)	△ 291			981	△ 749
営業活動によるキャッシュ・フロー			44,536		46,307
II 投資活動によるキャッシュ・フロー					
1. 投資有価証券の売却及び償還による収入			317		811
2. 投資有価証券の取得		△	391		△ 616
3. 資本的支出		△	16,238		△ 23,839
4. 施設借用保証金の増加(純額)		△	33		△ 365
5. 有形固定資産の売却による収入			819		373
6. 関連会社に対する投資及び貸付金の減少			30		—
7. 事業売却(現金流出額との純額)			7,187		△ 427
8. 事業買収(現金取得額との純額)			—		△ 20,466
9. その他の他(純額)			74		70
投資活動によるキャッシュ・フロー			△ 8,235		△ 44,459
III 財務活動によるキャッシュ・フロー					
1. 短期債務の増加(純額)			187		777
2. 親会社の支払配当金		△	14,539		△ 15,378
3. 非支配株主への支払配当金		△	297		△ 215
4. 自己株式の取得		△	8		△ 7,935
5. 非支配株主との資本取引による支出額		△	470		—
6. その他の他(純額)		△	47		34
財務活動によるキャッシュ・フロー			△ 15,174		△ 22,717
IV 換算レート変動の影響					
現金及び現金同等物の増減額			17,882		△ 19,366
期首現金及び現金同等物残高			82,910		126,026
四半期末現金及び現金同等物残高			100,792		106,660
営業活動によるキャッシュ・フローの追記					
1. 支払利息の支払額			93		104
2. 法人税等の支払額			18,439		18,786
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記					
1. 資本的支出に関連する債務			569		908
2. 退職給付信託へ抛出した投資有価証券の公正価額			8,487		—

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当連結会計年度より財務会計基準審議会会計基準更新第2015-17「繰延税金の貸借対照表における分類」を適用しております。当会計基準更新は、繰延税金資産および繰延税金負債を貸借対照表において非流動項目として表示することを要求しております。当会計基準更新の適用にあたり、過年度の連結財務諸表等を遡及的に修正しておりません。

なお、前連結会計年度末における流動区分の繰延税金資産および繰延税金負債は、それぞれ19,123百万円および32百万円です。

(セグメント情報)

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	AEC	SSB	HCB	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	239,992	68,882	96,911	30,883	75,991	52,272	564,931	3,756	568,687
(2)セグメント間の内部売上高	3,894	35,468	368	2,976	204	7,439	50,349	△ 50,349	—
計	243,886	104,350	97,279	33,859	76,195	59,711	615,280	△ 46,593	568,687
営業費用	206,819	97,202	92,397	37,366	68,614	61,021	563,419	△ 40,547	522,872
営業利益(△損失)	37,067	7,148	4,882	△ 3,507	7,581	△ 1,310	51,861	△ 6,046	45,815

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成30年3月期より、「SSB」傘下の一部を「その他」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間を新管理区分に組み替えて表示しております。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

(単位: 百万円)

	IAB	EMC	AEC	SSB	HCB	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	292,053	77,717	97,553	30,959	82,033	41,641	621,956	2,897	624,853
(2)セグメント間の内部売上高	4,863	42,479	1,382	3,015	202	7,512	59,453	△ 59,453	—
計	296,916	120,196	98,935	33,974	82,235	49,153	681,409	△ 56,556	624,853
営業費用	241,674	109,368	94,660	37,321	72,055	50,277	605,355	△ 44,867	560,488
営業利益(△損失)	55,242	10,828	4,275	△ 3,347	10,180	△ 1,124	76,054	△ 11,689	64,365

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	236,521	81,842	74,888	109,248	66,188	568,687	—	568,687
(2)セグメント間の内部売上高	127,483	4,689	1,289	71,794	18,888	224,143	△ 224,143	—
計	364,004	86,531	76,177	181,042	85,076	792,830	△ 224,143	568,687
営業費用	342,659	85,061	72,876	165,439	78,011	744,046	△ 221,174	522,872
営業利益(△損失)	21,345	1,470	3,301	15,603	7,065	48,784	△ 2,969	45,815

当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	238,624	86,684	86,370	131,145	82,030	624,853	—	624,853
(2)セグメント間の内部売上高	154,809	6,497	1,652	65,882	22,277	251,117	△ 251,117	—
計	393,433	93,181	88,022	197,027	104,307	875,970	△ 251,117	624,853
営業費用	354,032	92,070	83,471	177,714	96,830	804,117	△ 243,629	560,488
営業利益(△損失)	39,401	1,111	4,551	19,313	7,477	71,853	△ 7,488	64,365

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位: 百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	83,695	78,802	109,671	66,604	338,772
II 連結売上高					568,687
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.7	13.9	19.3	11.7	59.6

当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

(単位: 百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	88,232	90,398	132,946	82,808	394,384
II 連結売上高					624,853
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.1	14.5	21.3	13.2	63.1

(注) 各区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

3. 補足情報

(1) 連結業績概要

		第3四半期累計			通期		
		平成29年3月期 第3四半期	平成30年3月期 第3四半期	前年同期比	平成29年3月期	平成30年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	568,687	624,853	109.9%	794,201	850,000	107.0%
営業利益 (率)	百万円 (%)	45,815 (8.1%)	64,365 (10.3%)	140.5% (+2.2P)	67,566 (8.5%)	85,000 (10.0%)	125.8% (+1.5P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	44,075 (7.8%)	62,510 (10.0%)	141.8% (+2.2P)	65,492 (8.2%)	79,500 (9.4%)	121.4% (+1.2P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	30,616	46,673	152.4%	45,987	59,000	128.3%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	143円19銭	218円94銭	+75円75銭	215円09銭	277円00銭	+61円91銭
潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	143円19銭	—	—	215円09銭		
総資産	百万円	687,540	742,676	108.0%	697,701		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	465,877 (67.8%)	521,036 (70.2%)	111.8% (+2.4P)	469,029 (67.2%)		
1株当たり株主資本	円 銭	2,178円96銭	2,453円37銭	+274円41銭	2,193円72銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	44,536	46,307	+1,771	77,875		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△8,235	△44,459	△36,224	△15,041		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△15,174	△22,717	△7,543	△15,012		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	100,792	106,660	+5,868	126,026		

(注) 連結子会社数は168社、持分法適用関連会社数は17社です。

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		平成29年3月期 第3四半期累計	平成30年3月期 第3四半期累計	前年同期比
IAB	国内	966	1,127	116.7%
	海外	1,434	1,794	125.1%
	計	2,400	2,921	121.7%
EMC	国内	166	182	109.8%
	海外	523	595	113.8%
	計	689	777	112.8%
AEC	国内	138	126	91.3%
	海外	831	850	102.2%
	計	969	976	100.7%
SSB	国内	306	306	99.6%
	海外	3	4	173.4%
	計	309	310	100.2%
HCB	国内	227	197	87.1%
	海外	533	623	116.8%
	計	760	820	108.0%
その他	国内	459	338	73.7%
	海外	64	78	122.5%
	計	523	416	79.7%
消去調整他	国内	38	29	76.3%
	海外	0	0	—
	計	38	29	76.3%
合計	国内	2,299	2,305	100.2%
	海外	3,388	3,944	116.4%
	(海外比率)	(59.6%)	(63.1%)	(+3.5P)
	計	5,687	6,249	109.9%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成30年3月期より、「SSB」傘下の一部を「その他」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、平成29年3月期を新管理区分に組み替えて表示しております。

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

		平成29年3月期 第3四半期累計	平成30年3月期 第3四半期累計	前年同期比
IAB		371	552	149.0%
EMC		71	108	151.5%
AEC		49	43	87.6%
SSB		△ 35	△ 33	—
HCB		76	102	134.3%
その他		△ 13	△ 11	—
消去調整他		△ 60	△ 117	—
合計		458	644	140.5%

(注) 経営管理区分の見直しにより、平成30年3月期より、「SSB」傘下の一部を「その他」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、平成29年3月期を新管理区分に組み替えて表示しております。

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

		平成29年3月期 第3四半期累計	平成30年3月期 第3四半期累計	前年同期比
USD		106.9	111.7	+4.8
EUR		118.7	127.9	+9.2

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

	平成29年3月期	平成30年3月期 予想	前期比
IAB	3,310	3,930	118.7%
EMC	939	995	105.9%
AEC	1,321	1,295	98.1%
SSB	619	635	102.6%
HCB	1,013	1,085	107.1%
その他	685	520	75.9%
消去調整他	55	40	72.0%
合計	7,942	8,500	107.0%

(注1) 経営管理区分の見直しにより、平成30年3月期より、「SSB」傘下の一部を「その他」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、平成29年3月期を新管理区分に組み替えて表示しております。

(注2) 連結セグメント別売上高予想は、平成29年10月31日公表の連結セグメント別売上高予想から変更しております。詳細は18ページ「(8)連結セグメント別売上高予想(前回予想比較)」をご参照ください。

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	平成29年3月期	平成30年3月期 予想	前期比
IAB	520	730	140.4%
EMC	94	120	127.3%
AEC	71	60	84.2%
SSB	37	40	108.5%
HCB	85	105	123.0%
その他	△ 18	△ 25	—
消去調整他	△ 113	△ 180	—
合計	676	850	125.8%

(注1) 経営管理区分の見直しにより、平成30年3月期より、「SSB」傘下の一部を「その他」の事業セグメントに含めて開示しています。これに伴い、平成29年3月期を新管理区分に組み替えて表示しております。

(注2) 連結セグメント別営業利益予想は、平成29年10月31日公表の連結セグメント別営業利益予想から変更しております。詳細は18ページ「(9)連結セグメント別営業利益予想(前回予想比較)」をご参照ください。

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	平成29年3月期	平成30年3月期 予想	前期比
USD	108.9	111.3	+2.4
EUR	119.4	127.9	+8.5

(注) 平成30年3月期の予想における 第4四半期の業績予想の前提としている為替レートは1米ドル110円、1ユーロ128円です。なお、業績予想の前提としている為替レートは平成29年10月31日公表の為替レートから変更はありません。

(8) 連結セグメント別売上高予想(前回予想比較)

(単位：億円)

	前回予想	平成30年3月期 予想	増減
IAB	3,880	3,930	50
EMC	995	995	—
AEC	1,295	1,295	—
SSB	635	635	—
HCB	1,085	1,085	—
その他	570	520	△50
消去調整他	40	40	—
合計	8,500	8,500	—

(注) 前回予想は、平成29年10月31日公表の連結セグメント別売上高予想に基づいております。

(9) 連結セグメント別営業利益予想(前回予想比較)

(単位：億円)

	前回予想	平成30年3月期 予想	増減
IAB	715	730	15
EMC	120	120	—
AEC	65	60	△5
SSB	40	40	—
HCB	105	105	—
その他	△ 15	△ 25	△10
消去調整他	△ 180	△ 180	—
合計	850	850	—

(注) 前回予想は、平成29年10月31日公表の連結セグメント別営業利益予想に基づいております。